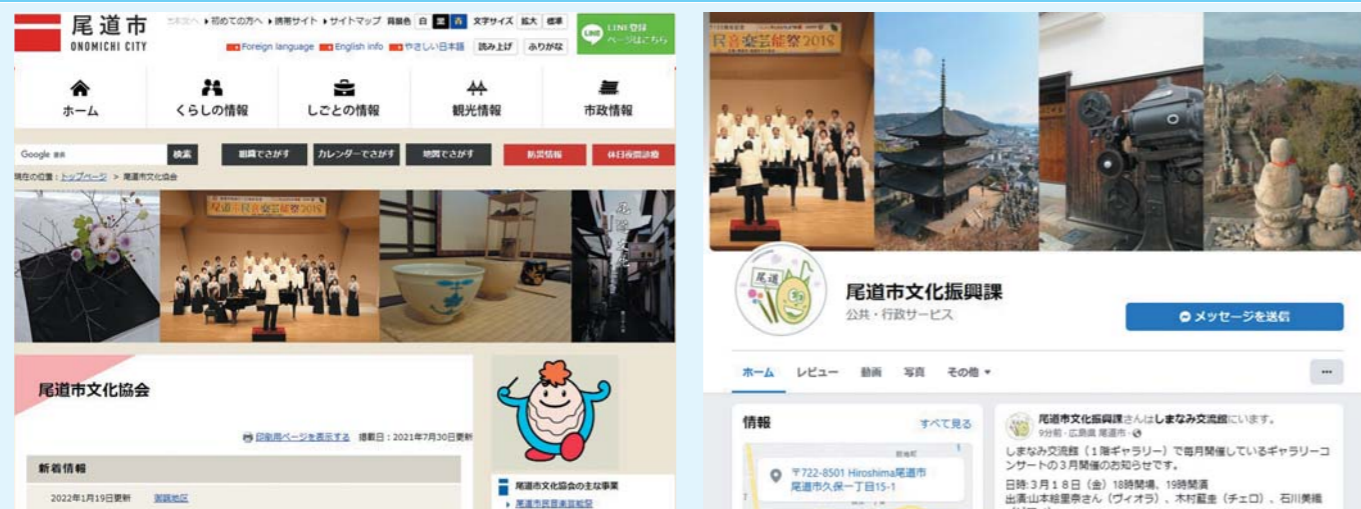


月	日	事業名	開催場所	主催
1	15~16日	2022 新春を彩る... 池坊尾道支部 いけばな池坊展	しまなみ交流館 1F 市民ギャラリー	池坊尾道支部
2	26~27日	池坊尾道山陽支部 春のいけばな池坊展 テーマ『尾道花物語』	しまなみ交流館 1F 市民ギャラリー	池坊尾道山陽支部
3	6日	Ballet Studio Angelet Spring Concert 2022	しまなみ交流館	Ballet Studio Angelet
6	5~12日	尾道写真クラブ展 2022	尾道市民センター むかいしまロビー	全日本写真連盟 尾道支部尾道写真クラブ
7	17日	尾道市吹奏楽団 第28回演奏会	しまなみ交流館	尾道市吹奏楽団
10	7~11日	2022年 創立88周年 尾道美術協会 大作展	尾道市民センター むかいしまロビー	尾道美術協会
10	30日	「第73回」尾道吟剣詩舞道大会	尾道市御調文化会館	尾道吟剣詩舞道連盟

海からの風 山からの風

文化協会のHP、Facebookができました!



尾道市のホームページ内にある、尾道市文化協会のページでは、1年間の行事のお知らせや等をご紹介します。また、会報誌のバックナンバー(3年分)や、尾道市文化協会の諸様式(後援申請書など)も掲載していますので、会員の皆様にご利用いただけます。

Facebookでは、文化振興課が関係するイベント情報をご紹介しますので、イベント情報を見逃したくない方におすすめです。

ぜひ右側のQRコードからアクセスして、ブックマークやいいね!をお願いします!ご友人知人の方にもぜひお知らせください。

文化協会ホームページ



検索:
尾道市
文化協会

文化協会Facebook



検索:
尾道市
文化振興課
Facebook

編集後記

会報を通じて、文化協会に所属する方々の取り組みに触れていただきたいと思います。記事をしています。

ご意見・ご感想、取り上げてほしい事柄など、ぜひ事務局までお寄せください。

尾道市文化協会会報 「海からの風 山からの風」 第29号

発行/令和5(2023)年3月31日
発行所/尾道市文化協会 尾道市久保一丁目15-1
尾道市企画財務部文化振興課内
TEL(0848)20-7514 FAX(0848)37-2740
E-mail:bunka@city.onomichi.hiroshima.jp



尾道市文化協会は昭和 56 (1981) 年、市内の文化団体を結集して設立しました。平成 17 (2005) 年に御調町文化協会及び向島町文化協会と、翌平成 18 (2006) 年には因島文化協会及び瀬戸田町文化団体協議会と合併し、地域文化発展を目指し活動を続けてまいりました。多くの方々に支えられ、昨年の令和 3 (2021) 年には創立 40 周年を迎えることが出来ました。

そうした節目の年ではありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、記念事業の実施は見合わせることを余儀なくされました。しかし本年度は感染防止対策を講じ、1年延期とはなったものの、40周年記念事業を行うことができました。そこで今号は創立 40周年記念号として発刊し、記念事業の様子や、会員の活動報告を取り上げています。

今後も、地域文化の発展と伝統の継承を担う会員の皆様の活動を支援するとともに、尾道市文化協会の更なる発展を目指し、会員の皆様と共に歩んでいきたいと考えております。

創立40周年記念事業

今年度は総合文化祭が第40回の節目に当たることから、総合文化祭会期中の「市民音楽芸能祭 2022」「尾道小径散策秋の茶会 2022」「尾道の美展 2022」を創立40周年記念と銘打って実施しました。感染症対策を取りながら、3年ぶりに総合文化祭の行事を全て開催することができました。各行事の様子は、4ページからの「令和4年度各部会での活動」で写真とともに詳しくご紹介しております。

さらに「尾道の美展 2022」最終日には、「尾道市文化協会創立40周年記念文化講演会」を、市民センターむかいしま内文化ホールで開催いたしました。



また尾道市が毎月発行している「広報おのみち」11月号では、40周年を記念して巻頭特集「尾道で、文化を味わう」が掲載されました。記事では文化協会の活動や会員の声が取り上げられています。

広報誌は尾道市の各家庭に配布され、公共施設等にも置かれています。様々な市民の方に文化協会がどのような活動を行っているのか、知っていただくきっかけになったのではないのでしょうか。

「広報おのみち」は、尾道市ホームページで各号のバックナンバーを公開しています。文化協会の特集を見逃した方も、ぜひアクセスして読んでみてください。



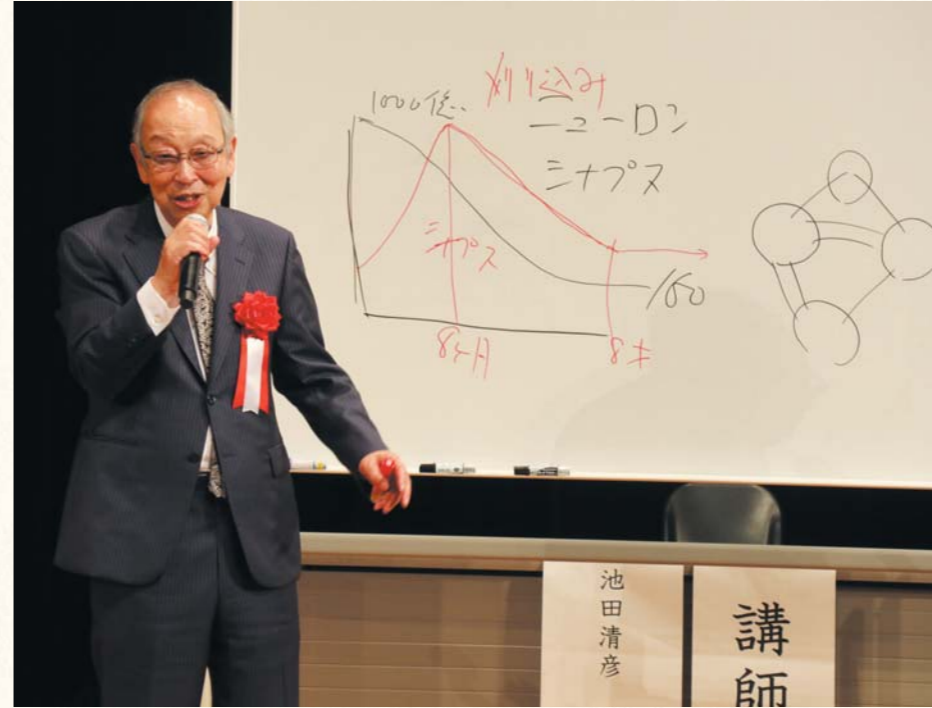
この講演会は、これまで尾道の文化振興にご尽力されてきた会員の皆様への感謝を表すとともに、文化協会のPRを目的として執り行いました。

講演会終了後には、協会内外から好評をいただきました。次ページでは講演会の写真やアンケートの一部を掲載しております。



40周年記念文化講演会 (第41回広島県文化団体連合会文化講演会)

11月20日(日)



11月20日(日)に、市民センターむかいしまの文化ホールで文化協会40周年を記念した特別文化講演会を開催しました。

講師は明石家さんまさん司会のテレビ番組「ホンマでっか!?TV」のコメンテーターとしてお馴染みの、山梨大学名誉教授・早稲田大学名誉教授の池田清彦先生をお迎えしました。

今回はテーマを「がんばらない生き方～あなたの人生を変えるほどほどのススメ～」とし、人生を楽しみ、豊かに暮らしていくためのヒントについて、池田先生の専門分野である脳科学や発達心理学の観点から考えるという講演でした。また終了後には、来場者からの活発な質問にも答えていただき、貴重な交流の時間を設けることもできました。先生のジョークを交えた軽快な語り口は来場者の笑いを誘い、会場の外までその笑い声が聞こえてくるような、楽しい講演会となりました。



文化協会の設立当時の新聞記事

昭和56年8月28日の山陽日日新聞には「文化協会を設立へ近く発起人会開く」というタイトルで、「尾道市は『文化の町』といわれ、多種多様な文化活動が行われているが、それを一つの大きなものにまとめようと尾道市文化協会を結成することとなり」とあります。

昭和56年10月1日の同新聞には「54団体、31個人が加入 尾道文化協会が設立総会」「尾道市文化協会の設立総会は三十日午後二時から」とあったと報じられています。



昭和56年10月1日 山陽日日新聞

アンケートの声から

【総合的な満足度】

とても満足：128人／やや満足：31人／普通：19人／やや不満：2人／とても不満：1人

【講演会の感想】

ユーモアたっぷりの楽しいお話でした。／いっぱい笑えてスッキリしました。／がんばらない生き方とは、自分に向いていることを伸ばすことだというお話がとても聞いて良かったです。／仕事に対する意識がわかりました。／講演会後の質問コーナーもフランクにお答えいただいて良かったです。／人の個性というもの、人の脳のつくり、人の在り方というものについて知れた。とてもユーモアのある講演会だった。／1時間半のマシガントーク！眠くなる暇もなく全て身にしみました。

令和4年度 各部会での活動

尾道市文化協会創立40周年記念 尾道市民音楽芸能祭2022(音楽芸能部)

11月5日(土)、6日(日)



11月5日(土)、6日(日)の2日間、しまなみ交流館で『尾道市市民音楽芸能祭 2022』が開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年度は中止、令和3(2021)年度は無観客での開催となったため、有観客での開催は3年ぶりとなりました。

5日は吹奏楽や合唱など音楽系、6日はバレエや舞踊といった芸術系の舞台発表に分かれ、子どもから大人まで、市内で活動する文化芸術団体が一堂に会し、

音楽芸能部からの参加(プログラム掲載順)

【11/5】(社)日本尺八連盟尾道聖琳会／ちくし浮城会／尾道女声合唱団まどか／尾道フラウエンコール／尾道市民合唱団／尾道ア・カペラズ／アンサンブル・カーノ／尾道男声合唱団コールクレイン／チャイム ソナレ／尾道市吹奏楽団

【11/6】Star Class／Ballet Studio Angelet／翠扇会／こはく／アロハ ローゼ ハウオリ／藤姿会・藤間紫壽衛社中／尾道吟剣詩舞道連盟／邑佑の会／邑奈於の会／有道郷土芸能保存会子ども龍王太鼓／舞憂会／鉄心流剣詩舞道／ふじもん会

華やかな舞台や演奏を繰り広げました。久しぶりの開催に来場者からは、「美しい声で情緒があり、心豊かな時を過ごせました。」「今日は素敵な踊りに出会えてとても幸せでした。」などの声が聞かれました。

また希望した団体は、発表の様子がケーブルテレビで放送されました。音楽系は12月12日(月)からの1週間、続いて芸能系が12月19日(月)から1週間の放映となりました。

尾道市文化協会創立40周年記念 尾道の美展2022(美術部、華道部、文化・文芸部)

11月16日(水)～20日(日)



『尾道の美展 2022』は、美術部、華道部の協力により、11月16日(水)／20日(日)までの5日間、尾道市民センターむかいしまにおいて作品の展示を行いました。

本年は展示期間中に行われていた「お茶の広場(お茶席)」および「囲碁の広場(子ども囲碁大会)」は中止となりましたが、1階ロビー会場では華道と写真を、2階の研修室では短歌、彫刻、陶芸、美術、書など様々なジャンルから多くの作品が展示されました。

観覧されたお客様からは、「コロナ禍の中、よい作品に楽しみました。」「いろいろな分野で尾道市の文化活動をリードし進められているのが素晴らしいと思います。」「芸術の秋が味わえました。」と好評でした。

今後も会員の皆様の文化・芸術活動を発表し高める場として、更なる発展と継続を目指します。

なお、出品数は182点(前年比-7点)、5日間の来場者数は878人(前年比-197人)となりました。

出展団体(目録掲載順)

【美術部】(写真)全日本写真連盟尾道支部尾道写真クラブ／向島写真クラブ(彫刻・陶芸)尾道陶芸作家協会／因島吉田彫刻・陶芸／岡 孝博(日本画)尾道日本画協会(洋画・デザイン)尾道美術協会／因島美術／向島絵画部／御調洋画教室(書)柏樹会／桂交会／蒼風会／墨藤会 ※個人名は個人会員

【華道部】華道家元池坊尾道支部／華道家元池坊尾道山陽支部／小原流／華道閑瀧流尾道支部／華道専正池坊

【文化・文芸部】御調町短歌教室

尾道市文化協会創立40周年記念 尾道小径散策 秋の茶会(茶道部)

11月13日(日)



11月13日(日)に『尾道小径(こみち)散策秋の茶会2022』が開催されました。このイベントは文化協会加盟の茶道部4流派の協力のもと、尾道の由緒あるお寺等を散策しながら、ゆっくりと一服していただくことが目的の恒例行事です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2(2020)年度、令和3(2021)年度と続けて中止していましたが、1席あたりの人数制限やマスクの着用など、感染対策を十分に行いつつ実に3年ぶりの開催となりました。

実施会場

浄土寺(方丈)：茶道速水流源会尾道支部
 浄土寺(梅の間)：(特非)茶の湯歳時記同好会
 西國寺(無塵楼)：表千家同門会備後支部(尾道)
 尾道市役所(多目的スペース)：茶道裏千家淡交会尾道支部

浄土寺に2席、西國寺に1席を設けるとともに、今回は初めて市庁舎2階の多目的スペースにも茶席を設けました。

どの団体も本格的なお茶席でありながら、気軽に参加していただけるよう工夫を凝らしており、今までお茶席に参加したことがない人や、小さなお子さまにもお茶を楽しんでいただきました。

なお、今年の来場者は657人(前回比▲279人)でした。



文芸誌『尾道文化』第41号 (文化・文芸部)

3月25日(金)発刊



尾道文化第41号 作者一覧(掲載順)

【会員外寄稿】寺杣 雅人/岡平 拓也/小島 燎/吉田 多美重/畠山 和夫/俳句会「城」(松江市文化協会)/今治汐風川柳社(今治市文化協会)
 【会員】(評論)住貞 義量/小川 都弘/黒田 信二(随想)平松 携/後藤 良雄/用松 昌晃/川口 ひかり(現代詩)山口 美沙子/楽 廉太郎(短歌)御調町短歌教室/仲尾 修(俳句)しまなみ俳句会/銀漢俳句会/巫 依子(小説)清水 英子/中村 英子/今井 豊

『尾道文化』第41号を発刊いたします。巻頭グラビアでは、尾道で活躍する若手クラフト作家を特集しています。各作家の方の作品への思いや、作品写真が紹介されています。

会員の寄稿では、尾道や御調の歴史を紐解く評論や、大切な記憶や日々の暮らしについて書かれたエッセイ、俳句、短歌、歴史小説からSF小説など、幅広い作品が掲載されています。

会員外からの寄稿では、向島の干拓の歴史についての評論、尾道とパリで活躍するヴァイオリニストの

エッセイや大林信彦監督の尾道での撮影秘話など、興味深い内容が投稿されています。他にも、松江市と今治市の文化協会に所属する団体から寄稿をいただいています。

また今回の表紙は尾道市立大学を卒業したグラフィックデザイナー、青井典子さんに制作いただきました。「尾道の春」をテーマにした、西國寺の大門と桜が印象的なデザインです。

市内の書店や文化協会事務局で販売していますので、是非お手に取ってご覧ください。

『尾道文化』第41号販売情報

販売金額 1,000円(A5判 174頁)
 取り扱い店舗：尾道市文化協会事務局(尾道市役所文化振興課)/啓文社/友文館(瀬戸田町中野)/なかた美術館/シネマ尾道/みつぎ道の駅/本因坊秀策囲碁記念館

令和4年度 各地区での活動

瀬戸田地区文化祭 **【中止】**

第15回瀬戸田地区文化祭は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止しました。来年こそは文化祭を開催すると、会員一同決意しています。



瀬戸田木工芸部会 展示



コールベルカントの発表

第14回瀬戸田地区文化祭の様子▶

御調地区文化祭 **1月29日(日)**

新型コロナウイルス感染症の影響により、一昨年度から中止となっていたため3年ぶりの開催となりました。ダンスやフラダンス、新舞踊、傘踊り、みあがり踊りなど様々な舞台発表があり、各団体の練習の成果が披露されました。



今年の御調地区文化祭の様子



因島地区文化祭 **11月12日(土)~13日(日)、2月5日(日)**

新型コロナウイルスの一刻も早い終息を祈念し、地域文化の発展と伝統の継承を目的に、しっかり感染防止対策を取りながら2回に分けて実施しました。11月12~13日は美術展・音楽祭・将棋フェスティバル、2月5日は邦楽祭、囲碁フェルティバルを開催しました。

因島地区総合文化祭(いのしま音楽祭) チャイムソナーレ



地区文化祭パンフレット デザイン:東 嘉美(因島美術)

文芸誌『御調文学』第57号 **3月15日(水)発行**

随筆や短歌、御調高・中学校の生徒と御調中央・西小学校の児童による作品を掲載しています。特集テーマは、令和4(2022)年3月に逝去された公立みつぎ総合病院名誉院長の山口昇氏の追悼特集「山口昇名誉院長の偉業を偲ぶ」、父や母とのエピソードを募集した「心に残る 父のこと母のこと」の2本です。グラビアでは公立みつぎ総合病院の変遷と、全国中学校選手権大会で優勝を果たした御調中学校男子ソフトボール部について取り上げています。表紙は圓鏝勝三さんの作品、「リズムの広場(フルート)」です。

第57号表紙



けんみん文化祭



「けんみん文化祭ひろしま分野別フェスティバル」は、県内8地区から推薦された団体が出場し、9月から12月にかけて、県内各地で開催されました。

けんみん文化祭ひろしま'22洋舞フェスティバル **10月2日(日)**

尾道市では、しまなみ交流館で10月2日(日)に「洋舞フェスティバル」が開催され、県内から10団体が参加しました。尾道市文化協会からは、Ballet Studio Angelet と Star Class が参加しました。

その他の会場には日本舞踊・新舞踊・洋舞・芸能・吟詠剣詩舞・合唱部門に9団体が出場し、撫子会(新舞踊)、アンサンブル・カーノ(合唱)、鉄心流剣詩舞道(剣詩舞)、邑佑の会(日本舞踊)の皆さんが最優秀団体に選ばれました。



Ballet Studio Angelet



Star Class

第33回尾三地区フェスティバル **2月18日(土)、19日(日)、26日(日)**

「第33回尾三地区フェスティバル」は、以下の3会場で開催されました。

開催日	会場	開催分野
2月18日(土)	三原市本郷生涯学習センター(三原市)	洋舞, 大正琴, 銭太鼓, 吟詠剣詩舞
2月19日(日)	しまなみ交流館(尾道市)	合唱, 洋楽, 邦楽
2月26日(日)	竹原市民館(竹原市)	日本舞踊, 新舞踊, 芸能, 民謡民舞, 和太鼓

尾道市からは、吟詠剣詩舞1、洋舞1、合唱7、洋楽2、新舞踊2、芸能2団体が参加し、他地域の団体との交流を図りました。

審査の結果、鉄心流剣詩舞道(吟詠剣詩舞)、新舞踊こはく(新舞踊)、舞憂会(芸能)が最優秀団体となったほか、御調ジャズダンス(洋舞)、尾道フラウエンコール(合唱)、撫子会(新舞踊)が優秀団体に選出されました。



高校生おのみち演劇祭 **10月23日(日)**

しまなみ交流館で「第21回高校生おのみち演劇祭」を開催しました。この演劇祭は広島県高等学校総合演劇大会尾三地区予選を兼ねた大会でもあり、参加6校(尾道北高校、三原高校全日制、尾道商業高校、三原高校定時制、三原東高校、尾道高校)による熱演が繰り広げられました。

最優秀賞は尾道高校の「E N G I」、優秀賞は尾道商業高校の「天使の声が聞こえたら」が獲得しました。

2校は11月にしまなみ交流館で開催された「第62回広島県高等学校総合演劇大会」に出場、尾道高校が金賞を受賞し県代表となりました。さらに尾道高校は中国ブロック大会で優秀賞(第4位)の成績を収め、昨年度に引き続き入賞を果たしました。



尾道商業高校「天使の声が聞こえたら」



尾道高校「ENGI (イー・エヌ・ジー・アイ)」

会員活動紹介

尾道市民合唱団

「練習風景(図書館にて新年初練習)」



1～2ヶ月練習しては2～3ヶ月休むという、何度もコロナに翻弄されての練習です。今度こそ3月の定演に向けて頑張っています。

コールいんのしま

「因島音楽祭」



「明るく楽しく、心をそろえて」をモットーに週一回の合唱練習に励んでいます。コロナ禍の前は老人施設や病院等を訪問し歌を聞いていただきました。現在は感染を考慮して自粛しています。

アンサンブル・カーノ

「全日本おかあさんコーラス全国大会に初出場」



10～70代のメンバーで、明るくコツコツと練習しています。夏には全国大会を経験したので、次の目標を持って合唱を楽しんでいます。

しまなみSCコーラス

「因島音楽祭 R4.11.13(日)」



令和2、3年度はコロナ感染症の拡大で、中止、今年度は感染防止対策をしっかり取り開催・・・会員は少し減りましたが、頑張っています。

尾道フラウエンコール

「市民音楽芸能祭に出場」



本年もコロナ禍で思うように練習できませんでしたが市民音楽芸能祭で歌える楽しさ、喜びを感じながらステージに立ちました。

あすなろ混声合唱団

「第54回いんのしま音楽祭に出演」



平成4年11月13日
3年ぶりに開催された第54回いんのしま音楽祭にアカペラで出演

因島宮城会

「芸能発表会」



上島町に住居のある会員が3人いる関係で毎年文化祭に参加しております。今年は3年ぶりで旧3町合同で第1回の発表会になりました。

因島新さなえ会

「民謡を唄い継ぐ」



2022年11月6日因島中庄公民館で新さなえ会民謡発表会が開催されました。暮らしの中から生まれた民謡は心のふるさとどんな時でも慰めはげましてくれます。今後も民謡を唄い継ぎ皆で楽しく心豊かに軽やかにお稽古に邁進してまいります。

尾道女声合唱団まどか

「「ひまわり賞」をいただきました」

第45回全日本おかあさんコーラス中国支部広島大会



31人の女声合唱団です。おかあさんコーラス広島県大会で「ひまわり賞(優秀賞)」でした。尾道市民文化祭に出場し、県民文化祭にも出場予定です。



宮城会角田社中

「演奏会の様子」



月に1度勉強会を行い、日々練習を重ねております。数年ぶりに三曲会の定期演奏会に出演させていただくことが出来ました

竹友会

「因島田熊町竹長区民館設立35周年記念大会へ竹友会として尺八演奏参加」



因島田熊町竹長区民館設立35周年記念大会が令和4年10月2日(日)開催され、竹友会として尺八にて演歌5曲を演奏しました。

会員活動紹介

若智会

「若智会」



因島で日本舞踊や新舞踊をお稽古しています。続ける事が一番大事！を合言葉に楽しみながら頑張っています。

翠扇会

「常盤津 お化け提灯」



令和4年4月日本舞踊協会広島県支部主催の舞踊会に出演しました。きつねとたぬきの化かし合いを楽しく軽快に踊りました。出演者：たぬき(男)若柳翠鈴夏/きつね(女)若柳華奈緒

鉄心流剣詩舞道

「けんみん文化祭ひろしま'22吟詠剣詩舞の祭典に参加しました。」



今大会で、最優秀賞を受賞しました。

Ballet Studio Angelet

「県民文化祭への参加」



県民文化祭へ参加させていただきました。コロナ禍になって初めての県・市の舞台に立たせていただき、感謝の気持ちを込めて踊りました。

アロハローゼハウオリ御調

「第3回瀬戸内フラダンスフェスティバル」



三原駅前 キオラスクエア広場にて、西日本豪雨災害復興支援として始まった 瀬戸内フラダンスフェスティバルに参加しました。

一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギア

「しまなみ海道・秋の音楽休暇村」



毎年秋に、しまなみ海道の美風景をバックにそれぞれのコンセプトを持った音楽祭を各地で開催しています。

会員作品紹介

①



②



③



④



⑤



⑥



題名/作者/ひとこと

①「春のいぶき」(生け花)/華道家元池坊尾道支部 宇佐 美恵子/
希望にみちた春に向けて、柳のしなやかさを生けてみました。

②「大志」(生け花)/閑淵流尾道支部 山内 一翠/
金色の二段式の器に、下段の白いカラーと緑の山茶花は清楚に！上段の力強い色彩は、大志を持って生きよう！

③「赤づる」(生け花)/華道専正池坊 住元 岳堂/
赤づるを折り曲げ、赤づるの線にアンスリュームの面で調和を試みました。

④「願い」(生け花)/小原流 間江 豊彰/
難転にも通じている南天の木と、ストレリッチアを取り合せて、世の中の平和を願い、生けてみました。

⑤「レリーフ」(彫刻)/因島吉田彫刻・陶芸 岡本 佐知子/
レリーフに初挑戦。平面と立体を往き来する表現方法に戸惑いながら制作しました。難しい、でも、面白い。

⑥「RAIL WORK I」(彫刻)/岡 孝博/
近年、レールを使用し作品制作を行っている。私のこころの気の向くままに変化させていければと想う。

会員作品紹介



題名/作者/ひとこと

- ⑦「佳色池塘に満つ」(書道)／柏樹会 河野 圭扇／
明るい景色が見えるので、このことばにしました。
- ⑧「雪月花」(書道)／桂交会 吉田 玉苑／
自然の移り変わる美しさを表現しようとして悩みましたが素朴こそ美の根源だと気づき余白の美を追求しました。
- ⑨「伊藤左千夫の和歌(ひんがしの・・・)」(書道)／蒼風会 猪原 忍／
仮名書の特徴である墨のある部分とかすれ字とのバランスや字のない空間とのバランスを意識しました。
- ⑩「破顔一笑」(書道)／宮地 明子／
墨の香にさそわれ癒され筆を持つ。今日の力はこの辺で、次の日からは又一步への連続で、書を学び楽しむ。
- ⑪「百試千改」(書道)／小林 韜光／
百回試して千回改めるとい意味です。作品制作の時に気を付けています。字の大小のバランスを見てください。
- ⑫「金子みすゞの詩」(書道)／墨藤会 山田 三詠／
初めて咲いた薔薇の花の気持ちを可愛い文字で優しく表現した。上下の文字の配置で美しい行流れを生んだ。

会員作品紹介



題名/作者/ひとこと

- ⑬「係船」(洋画)／因島美術 大橋 博／
味わい深い顔を表現したく、無我夢中でつくりました。
- ⑭「まなざし」(洋画)／尾道美術協会 迫田 芙佐子／
この女性のもつ凛とした姿を表現できたらと思い全体をシックな色でまとめ描いてみた作品です。
- ⑮「マテーラの小さなカフェ(イタリア)」(洋画)／尾道美術協会 沖浜 忍／
見落してしまいそうな普通の住宅の奥まった所に小さなカフェがあった。蜂蜜色の壁と青いドアが印象的だ。
- ⑯「自由空間」(写真)／全日本写真連盟尾道支部尾道写真クラブ 藤田 学／
見た物を撮るだけでなく見て感じて色々想像して楽しんで頂きたい思いを写真で表現作品にしてみました。
- ⑰「紫色のとき」(日本画)／尾道日本画協会 定金 昌枝／
昨夏の紫色の富良野では、あたり一面のラベンダーと、白いベンチと、青い鳥が心に残りました。
- ⑱「紫綬金章」(水墨画)／水墨画瀬戸田教室 峰紀／
退職後からはじめた水墨画、ちょうど6年目に掛軸に挑戦し、表装された作品に感激したことを思い出します。